

市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われ市の財政が運営されているのか、市の財政状況について平成30年度決算の概要を地方財政状況調査表（決算統計）に基づいてお知らせします。

平成30年度の一般会計総額は歳入240億3、125万7千円、歳出227億922万7千円となりますが、決算統計は総務省の基準により決算を分析したもので、後期高齢者医療広域連合にかかる経費を除いています。決算額は、合志地区防災広場整備工事の都市防災総合推進事業など平成29年度中に事業が完了せずに繰り越した財源を含めた額です。

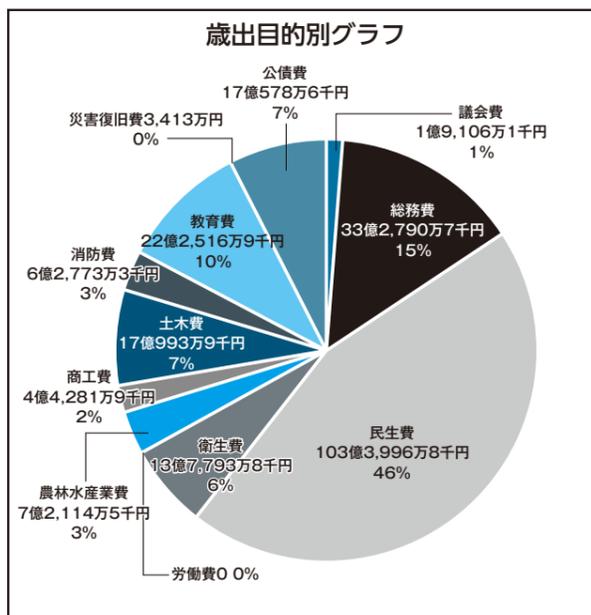
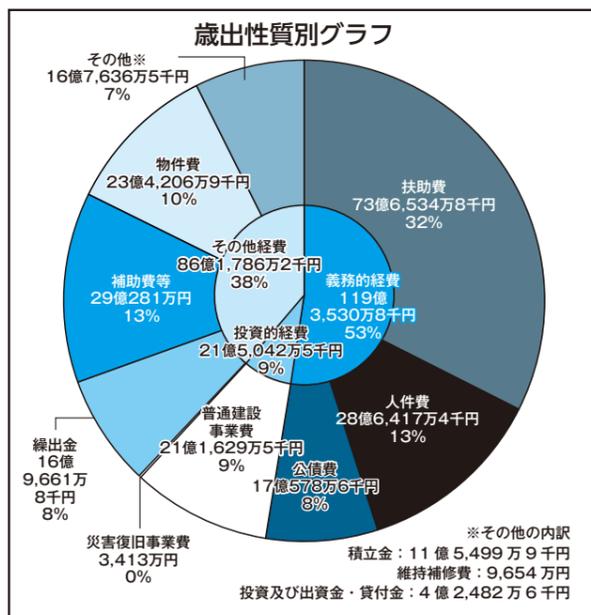
市の貯金と借金(平成30年度末)

●貯金			
財政調整基金	34億4,384万3千円		
減債基金	8億3,599万1千円		
特定目的基金(4基金)	31億9,771万4千円		
合計	74億7,754万8千円	市民1人当たり	119,942円
●借金			
地方債(一般会計のみ)	195億5,154万7千円	市民1人当たり	313,613円
地方債(企業会計も含む)	306億7,754万円	市民1人当たり	492,077円

※人口は平成31年3月末の人口(62,343人)で算出しています。

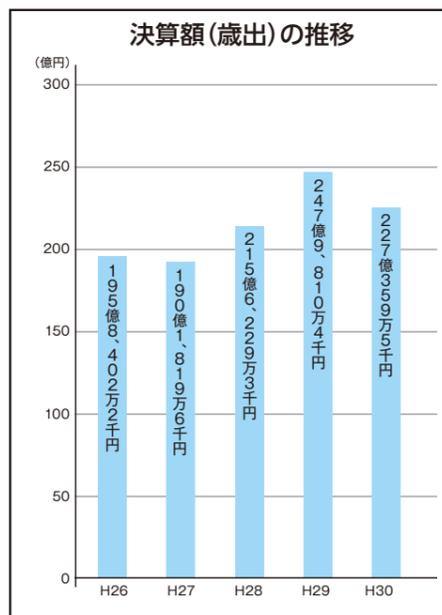
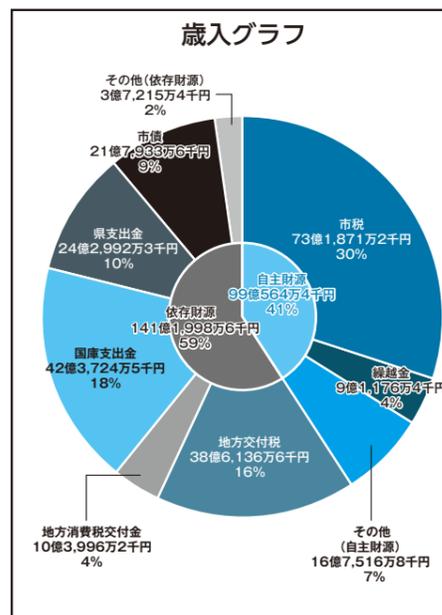
一般会計の歳出

227億359万5千円



一般会計の歳入

240億2,563万円



収入の状況

一般会計の歳入は240億2、563万円で、平成29年度に比べて16億8、423万7千円(6.6%)減っています。これは、国庫支出金や県支出金、市債が減ったことが主な要因です。

市民の皆さんが納めた市税(市民税や固定資産税、軽自動車税など)は、平成30年度決算で歳入の約30%を占めています。平成29年度と比べて、金額で7億5、846万2千円増えました。



支出の状況

一般会計の歳出は227億359万5千円で、平成29年度に比べて20億9、450万9千円(8.4%)減っています。これは、保育所緊急整備事業費補助金、合志庁舎増築工事費、総合センターヴィーブル災害復旧工事費が減ったことが主な要因です。市民1人当たり約36万4千円が支出されたこととなります。

一般会計の決算状況・実質収支

実質収支額は11億4、017万3千円で、平成29年度に比べて3億2、275万3千円増えました。
実質収支額11億4、017万3千円は令和元年度予算へ繰り越しました。
※さらに詳しい内容は市ホームページをご覧ください。



歳入総額 240億2,563万円	歳出総額 227億359万5千円	差引額(形式収支額) 13億2,203万5千円
形式収支額(上記差引額) 13億2,203万5千円	翌年度へ繰り越すべき財源※ 1億8,186万2千円	実質収支額 11億4,017万3千円

※平成30年度中に事業が完了せず令和元年度に繰り越す財源。

特別会計の実質収支額

	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	65億1,988万8千円	64億4,270万1千円	7,718万7千円
後期高齢者医療特別会計	5億6,908万4千円	5億6,695万5千円	212万9千円
介護保険特別会計	44億2,932万4千円	42億6,530万5千円	1億6,401万9千円